

私はフィリピンの公務員のマウイ・ドウルセです。現在、技術教育・技能開発庁(TESDA)に勤務し、技術教育・技能開発の専門家として働いています。日本人と一緒に働いた私の経験について紹介できる機会をいただき嬉しく

ナビゲーター

思います。

フィリピンは、東南アジアで最も急成長する国のひとつで、昨年はGDP成長率が5・6%を記録しました。1億1300万人を超える人口の多くが若年層で、平均年齢は25歳。活気に満ちダイナミックな労働力が国の発展のために重要な役割を果たしていま

131

日本への期待 世界各地から

す。

製造業はGDPの19%を占め、350万人超の雇用を担うなどフィリピン経済の中で重要な位置を占め、電化製品、自動車部品、食品加工、化学、機械など幅広い分野を含んでいます。

特に日本企業は強力なパートナーとして、1500社以上が輸出特別地域と工業団地で操業しています。

わが国の戦略的な位置や英語が堪能で技術知識に長けた労働力、投資家に優しい政策が、インド太平洋地区の中で

自動車部品産業の成長へ

フィリピンの職業訓練教育

私たちの国を、日本にとって価値あるパートナーとしています。私は、日本の製造業の存続と拡大を支えるために、フィリピンは独自の機能を備えていると信じています。

私は、TESDAの労働市場情報部門で、労働市場の傾向を分析し、今後必要とされる労働者の技能を予測する企画部署にいます。私たちは各種の産業団体や関係者と密接に連携し、私たちのデータが現状を反映して役立つようにしています。教育・訓練が実

社会の需要にマッチするためわが国の立ち位置について、

に重要なことです。

幸運なことに私は、日本の国際協力機構(JICA)の二つの重要なプロジェクトに貢献する機会を得ました。

「バリューチェーン分析を活用した産業振興計画策定」と「産業人材育成およびバリューチェーン強化を通じた産業競争力向上」です。これらの取り組みから、私たちフィリピン人参加者は、日本企業とフィリピン企業への視察を通じて、グローバルな自動車製造バリューチェーンにおけるわが国の立ち位置について、

より深い理解を得ることができました。

私たちは、必要とされる技能の中でも鍵となるものを特定し、どのようにそれらを競争力基準、カリキュラム、評価方法に入れ込むのかを探りました。

日本人専門家とフィリピン専門家との密接な協力により、TESDAチームと講師陣は、自動車産業用の訓練プログラム開発に最適な実践を行うことができました。この経験から、私たちは職業教育訓練の強化により貢献できる

ようになり、その結果フィリピン労働者は就業機会を広げることができました。

私はフィリピンと日本の間でさらなる協働や知識交流が行われることを楽しみにしています。一緒に仕事をすることで、私たちはそれぞれの産業を成長させ、技能開発とイノベーションを通じて西国民の技能を磨くことができるはずです。

【マウイ・ドウルセ、リム中産連】

※TESDAはその幅広い役割の中で、日本語・日本文化コースを開講するなど、日系企業に職を求めるフィリピン労働者の後押しもしています。

(月曜日に掲載)